

2023年12月4日

関係各位

マネックス証券株式会社

新 NISA 開始直前アンケート実施

～新制度の評価は 10 段階中 7 以上が 86%と高評価～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、いよいよ始まる 2024 年 1 月からの新 NISA 及び資産運用に関する調査を実施いたしました。本調査はマネックス証券に口座を保有している方を対象に行い、計 7,380 名（内 NISA 口座保有者 6,987 名）の回答を得ました。

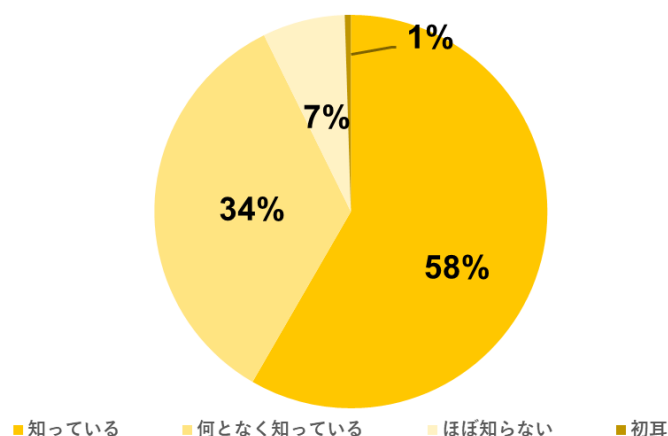
【調査結果要旨】

- ・ NISA 口座の保有者に質問した結果、新しい制度改正をあまり認知をしていない個人投資家が 8%もいる。（1-1）
- ・ 10 段階評価で 7 以上の評価を付けた個人投資家が 86%と評価されている。（1-2）
- ・ 自分の投資行動がポジティブに変わっている個人投資家は 62%と前向き。（1-5）
- ・ 半数以上である 51%の個人投資家が一度 NISA 口座を開いた金融機関から金融機関を変更したい、と思ったことがあり、想定以上。（1-9）
- ・ 14%の個人投資家が銀行で NISA 口座を保有していたことがある。（1-10）
- ・ エンゲージメント投資という概念は 60%もの個人投資家に浸透。（1-12）

【アンケート調査結果】

1-1 新 NISA の改正内容に関する認知度

新NISAの改正について(N=6,987)



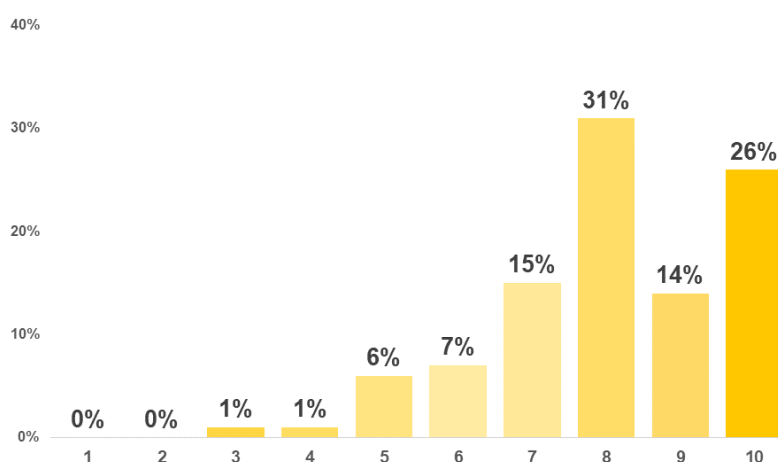
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



多くの報道などもあり、新 NISA の改正についての認知度は 92%まで上昇しました。しかし、NISA 口座保有者に質問した結果、あまり認知をしていない個人投資家が 8%もいました。NISA 口座を保有している個人投資家にも新制度をしっかりと理解してもらう活動を続けていく必要性を感じます。

1-2 新 NISA の改正内容についての評価 (10 段階)

新NISAの内容についての評価(N=6,479)



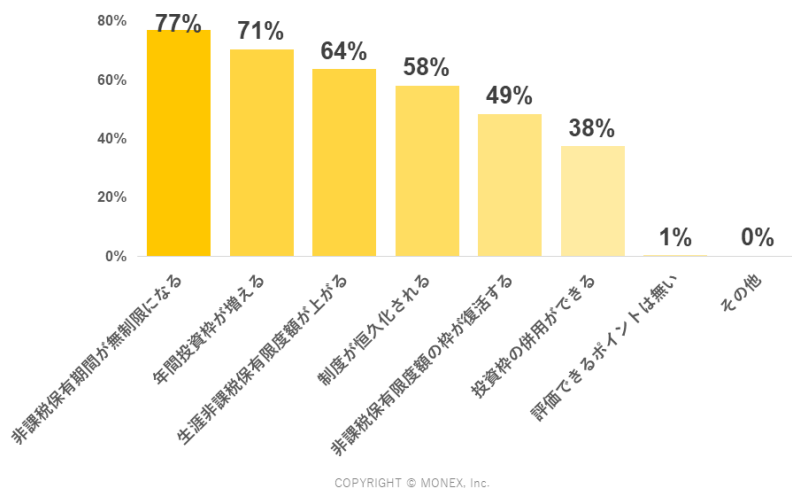
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



新 NISA の改正内容を理解している個人投資家に今回の制度変更を 10 段階で評価してもらったところ、7 以上の評価を付けた個人投資家が 86%となりました。今回の制度変更がかなり好意的に受け取られていることが分かります。

1-3 新NISAで評価できるポイント（複数回答）

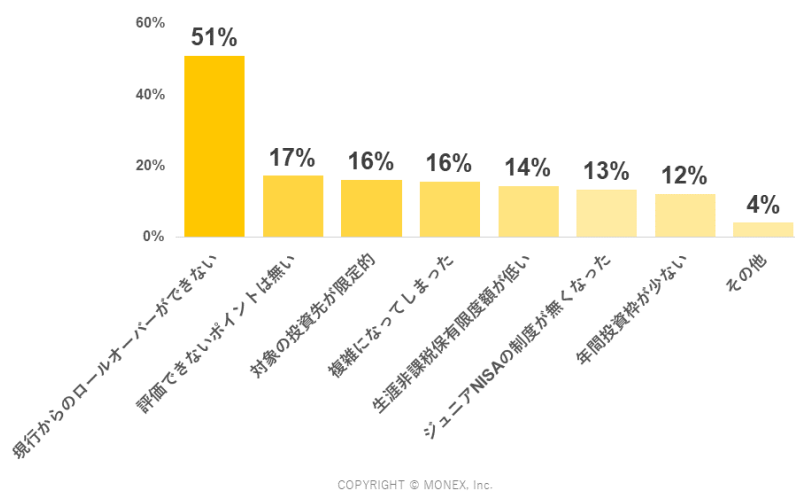
新NISAで評価できるポイント（N=6,479）



「非課税で保有できる期間の制限がなくなったこと」、「年間の非課税投資枠が増えること」が70%以上の個人投資家に評価されています。一方、「評価できるポイントが無い」と答えた個人投資家は1%にとどまっています。

1-4 新NISAで評価できないポイント（複数回答）

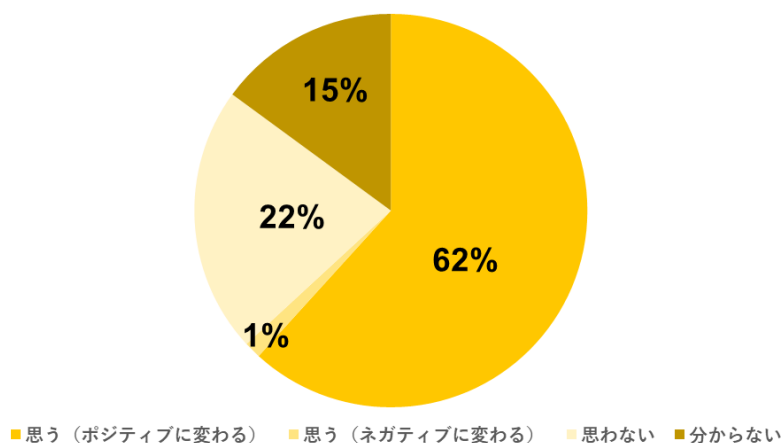
新NISAで評価できないポイント（N=6,479）



「現行 NISA からロールオーバーできないこと」が評価できないポイントとして突出した結果となりましたが、次に高かったのが「評価できないポイントがない」という回答でした。評価できるポイントを聞いた回答同様、いかに今回の制度変更が評価されているのかが伺えます。

1-5 投資行動の変化（複数回答）

新NISAが始まったら 投資行動が変わると思いますか？ (N=6,987)



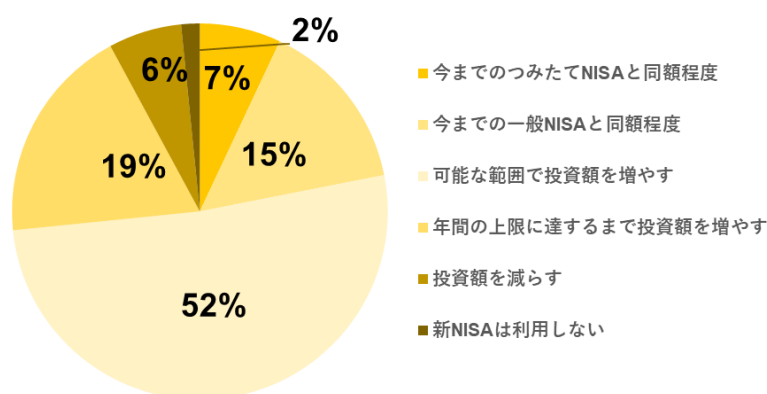
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



新 NISA への改正を受けて自分の投資行動がポジティブに変わると思っている個人投資家は 62%となりました。ネガティブに変わると思っている個人投資家は今回の制度変更を評価できないと回答した個人投資家の割合とほぼ同じく 1%にとどまっています。

1-6 新 NISA 移行による投資額の変化

新NISAで投資額を変更しますか？ (N=6,766)



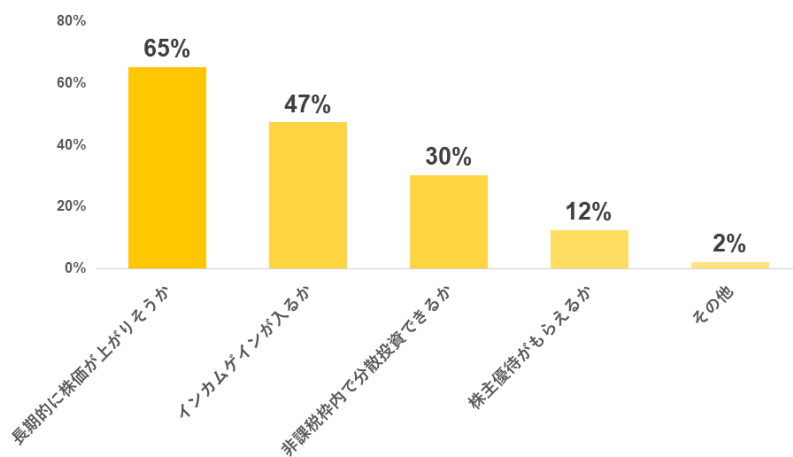
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



現行の NISA の口座を保有している個人投資家のうち、半数以上が新 NISA への変更後は可能な範囲で投資額を増やす想定をしていることが分かりました。年間の上限に達するまで増やすという個人投資家も合わせると実に 71%もの個人投資家が増額を検討しているという結果となっています。

1-7 NISA を利用して投資をする際の重視事項（複数回答）

NISAを利用して投資をするときに重視すること (N=6,766)



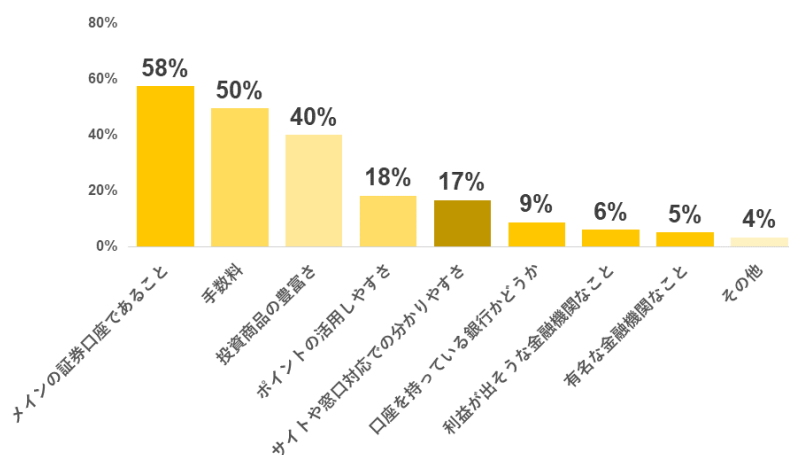
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



65%の個人投資家が「長期的に株価が上がりそうか」を重視しているという結果となりました。NISA を利用する際はしっかりと長期保有を目的として投資を行おうと考えていることが見て取れます。

1-8 NISA 口座を開く先を選ぶポイント（複数回答）

NISA口座を開く先を選ぶポイント(N=6,987)



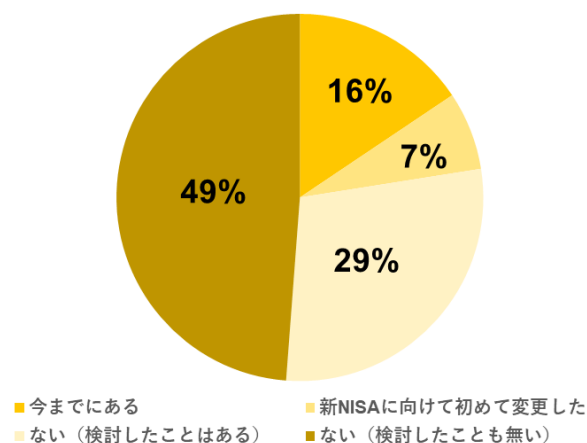
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



「メインで利用している証券会社で口座が開けるかどうか」と「手数料」が半数以上の個人投資家に重視されていることが分かります。新 NISA での取引手数料は無料としている証券会社も多いため、メインで利用している証券会社かどうか重要なポイントになってくるようです。

1-9 NISA 口座の金融機関の変更経験

NISA口座の金融機関変更経験(N=6,766)



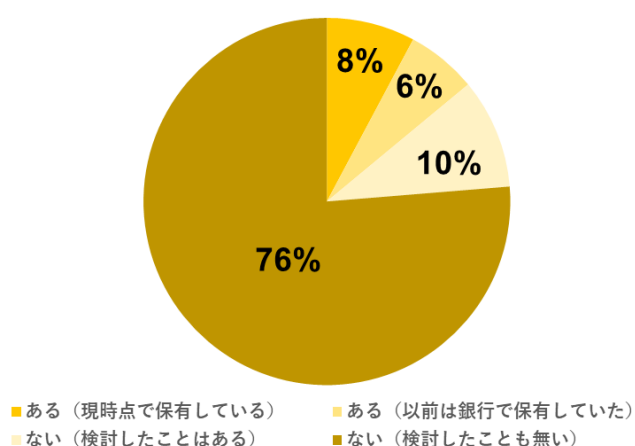
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



NISA 口座は一つの金融機関でしか開くことができませんが、23%の個人投資家が実際に金融機関を変更したことがあると回答しました。実際には変更していないものの検討したことがあるという個人投資家も含めると、半数以上である 51%の個人投資家が一度 NISA 口座を開いた金融機関から金融機関を変更したい、と思ったことがあるという結果が得られました。

1-10 銀行での NISA 口座開設の保有有無

銀行でのNISA口座開設の保有有無(N=6,987)



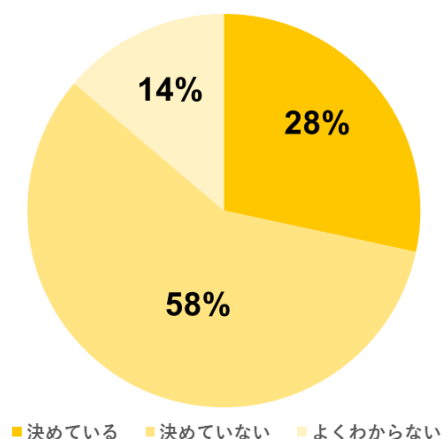
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



証券会社ではなく、銀行で NISA 口座を保有しているかという質問には、14%の個人投資家が「ある」と答えており、「検討したことがある」も含めると 1/4 近い 24%の個人投資家が銀行で口座開設をしたいと思った、という回答が得られました。

1-11 銀行でのNISA口座開設の有無

資産運用のゴールを決めているか(N=7,380)



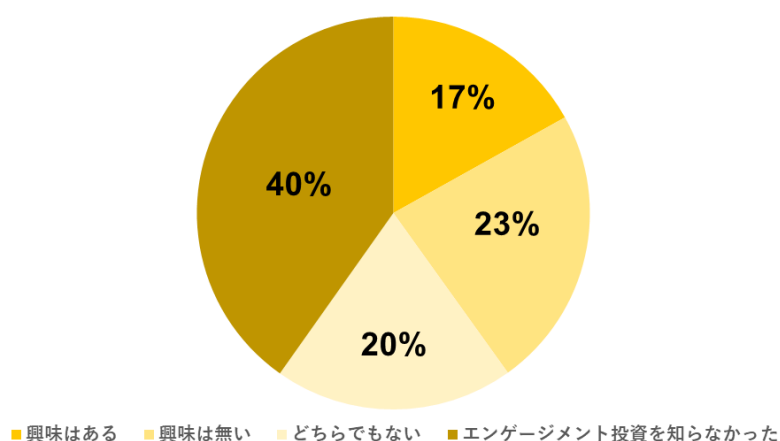
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



資産運用のゴールを決めている個人投資家は28%にとどまりました。マネックス証券では、人生設計を行いながら、自分の思い描く人生を生きるためにどれだけの費用が掛かり、いつどうやって使うのか、を考えながら資産運用をすることの重要性を今後も啓蒙してまいります。

1-12 エンゲージメント投資への興味

エンゲージメント投資への興味(N=7,380)



COPYRIGHT © MONEX, Inc.



企業に対して（株主総会などで）企業価値が向上するような提案や提言を積極的に行うことを目的としたエンゲージメント投資は、まだ40%の個人投資家が概念を知らなかったものの、17%が興味を持っていました。興味の有無問わずエンゲージメント投資という概念が60%もの個人投資家に知られるようになってきたことは大きな変化と言えるでしょう。

【マネックス証券のNISA】



■2024 年以降 NISA で取り扱うすべての商品の売買手数料を無料

2024 年から始まる新 NISA で取り扱うすべての商品（日本株・米国株・中国株・投資信託）の売買手数料を無料化するとともに、現行 NISA において保有いただいている商品を 2024 年以降に売却される場合の手数料も無料とします。

■NISA 口座でのクレカ積立のポイント還元率がアップ

NISA 口座でのマネックスカード投信つみたて（クレカ積立）に伴うポイント還元率が 2023 年 10 月以降にマネックス証券の NISA 口座を開設した方は、通常 1.1%のところ 2.2%に。

2023 年 9 月までにマネックス証券の NISA 口座を開設した方は、通常 1.1%のところ 1.5% にそれぞれ 2024 年 9 月 30 日までのご利用に伴うポイント還元率をアップします。

	通常の ポイント還元率	期間中の ポイント還元率	適用期間
2023年10月以降に マネックス証券のNISA口座 を開設した方	1.1%	2.2%	2023年10月2日（月）～ 2024年9月30日（月）
2023年9月までに マネックス証券のNISA口座 をお持ちの方	1.1%	1.5%	2024年1月4日（木）～ 2024年9月30日（月）

詳しくはマネックス NISA 特設サイト (<https://info.monex.co.jp/feature/nisa2024/index.html>) をご覧ください。

■調査概要と回答者の属性

調査方式：インターネット調査

調査対象：マネックス証券口座保有者

回答数：7,380

調査期間：2023 年 11 月 25 日（土）～11 月 27 日（月）

以上

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会